

第3回佐久市環境審議会 議事録

日 時:平成27年2月4日

10:00～11:10

場 所:議会棟 全員協議会室

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 会議事項

(1)佐久市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の素案について

《生活環境課より説明》

【 質疑、意見 】(各要約)

(委 員) 自転車等、民間に出しているようなものというのは掴みきれないですね。

(担当課) はい、実態の数字は。

(委 員) それを入れている市町村と入れていない市町村というのは、ほとんどの市町村は入れていないとっていいわけですか。

(担当課) 他の自治体さんの例でいきますと、集団回収を市の方に報告したりして把握されている自治体さんがあるのですが、許可業者に処理を依頼している分についての把握はしていない自治体さんの方が多いです。それはやはり請け負ったごみの処理を許可された側がその先埋め立てしているのか、資源として売却しているのかというところを出すと、そこからは商いになっていますので、なかなか自治体さんの方に報告するという例はないので、難しいということになります。

(委 員) 中国へ持って行ってしまうというような。

(担当課) 厳密に言いますと、廃棄物を輸出入ということは廃棄物処理法で厳しく制限されておりますが、有価物という名前にごみが変わりますので、そうなる鉄、古紙といったものが海外に輸出されています。それは全て有価物、資源ですよということできちんと法律で定められた範囲で海外の必要なところに輸出されているというケースがございます。

(委 員) 日本はレアメタル等ああいう高い資源をいっぱい買ってきて、精製してきれいにして、携帯電話に使っているんですけども、そこから回収する方が楽だったり、それを中国、業者に持って行ってという例もある。日本でも鉱山会社っていうのは資源から回収しているんですよ。

(委 員) 無料回収とかで、あちこちに旗が立っているところがあると思うんですが、ああいうのも市の許可を受けてやってらっしゃるんですか。

(委 員) 無料回収は基本のごみとは考えていないです。有価物として集めているということで廃棄物と清掃に関する法律の適用外だということになりますけれど、もちろんそれがゴミだと分かれば当然処理します。あと、古物商なんかは許可が必要になります。

(会 長) 今の市の説明で、今回のパブリックコメントの修正を加えまして素案に反映させたということで、これを基に計画案を作り市長に答申するというところでよろしいでしょうか。

(委 員) はい

(会 長) ありがとうございます。
それでは、計画案の今後の取扱いについて事務局から。

(事務局) 本日計画案につきまして承認をいただきましたので、今後は答申に向けての事務を進めてまいります。答申は2月17日火曜日を予定しております。当日は、委員の皆様を代表しまして、白井会長さんに市役所へお越しいただきまして、会長より市長へ答申していただく予定であります。なお、答申の文案につきましては、会長に一任させていただきたいと考えております。以上でございます。

(会 長) それでは、只今ご説明ありました答申の事務手続きと文案について私に一任ということでこれについて質問、ご意見有りましたらお願いします。

(委 員) 異議なし

(会 長) それでは、ご異議がないようでございますので、そのように承知いただくようお願いいたします。

以上で一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の素案についての議題を終了いた

します。

4. 報告事項

- (1) 平成26年版佐久市環境白書について
- (2) 特定外来生物実態調査（植物）報告について

(委員) この調査を今後どのように活用して、軽減させていくかということが非常に重要で、軽減させていくにはいくつかの活動が必要だと思うのですが、啓発活動をして一般の方に協力していただくことも非常に大事になるかと思えます。そのことについてどのような計画をお持ちなのかということと、一般の方にはこれできっとこんなに増えているのだなと思われると思うのですが、私たちとしてはどのような調査方法を取っていて、分析をしているか、もっと個体数を数えていたりすると思うので、そういう細かい報告書を閲覧することは可能かどうか。

(事務局) 最初に今後この調査を基にどうしていくかということであります。一番は駆除については既に検討させていただいております。ただ、あくまでも検討であってさらに詰めていかなくてはいけないのですが、ひとつには先ほど言いましたように国道141、142のオオキンケイギクが相当数あるということの中で講師の先生、詳細について分からなくてはいけないものですから、ご指導いただく中で市民の皆さんと一緒に学習をして駆除をしていく方法がどうかという検討もしております。

もう一点は、アレチウリにつきましては7月の最終の日曜日が県統一駆除日になっておりますのでそこらへんも踏まえまして、調整しながら今後も進めていきたいと思っております。はっきりした計画はまだできませんけれども、検討には入っているという状況であります。

次に、どんな方法で調査されてどのような形で閲覧できるかということなのですが、市のホームページで閲覧できるような対応を取っていきますので、お願い致します。

(委員) 新幹線のところの騒音についてですが、2年3年と継続した場合に、数値が超えているということが続いた場合はどのような対応をされるんですか。

(事務局) このような結果を踏まえて JR 東日本の方へは我々を含めた会議がありますのでそのような場所でご報告させていただいて、改善すべき点等あれば要望等しているところであります。

回答結果からいきますと、その状況を見ながら対応していただくということになるという回答をつい最近いただいたところであります。そのような内容で関係するところと協議しながら進めていくこととなります。

(委員) 具体的には。

(事務局) あれば今後もやると、今ある中でも、それはお願いしていくということがあります。

(委員) 70デシベル以上あるとそういう対象になるんですか。

(事務局) そうですね。一つの基準がそういうことなのだそうです。

(委員) 外来植物はやっぱりすごく増えていて、うちは西の方に畑が有るんですけども、そこも畑をやっている人たちがお年寄りなんです、荒畑のようにしているんですけども、すごいなと思っているだけで、どうにかならないかなと思いますね。

(事務局) 今お話をいただいたように確かに大変なんですけど、一番は5月か6月頃ですかね、出てきたときに抜く、一番は抜くしかないんですけども、除草剤だとまた色々あるので。根気よく抜くしかないという事の中で一斉にやればということで7月の最終の日曜日という事になっておりますけれど、我々もオオキンケイギクの駆除も合わせましてどこかで抜く作業をしていきたいと思えます。

(委員) 抜くしかないんですけど、そのことが私たちの生活にどう繋がっていくかという事に対する想像力がないと一般の人にはそれが必要かということには思い至らないんじゃないかと思えます。

じゃあ多様性が下がっていることは私たちだけじゃなくて後世に何を残すことになるのか、もっと言うと経済に関わってくると思えますし、鹿等を見ると、水質にリンが入っていることによって人間が飲んでいる飲料水とか、農作物を育てる川の水として適切ではなくなるということが分かってきてもらえると少し違うかなと思います。

オオキンケイギクだけを抜かなきゃいけないよとか、アレチウリだけを抜かなきゃいけないよっていうのはすごく大変な仕事だし、先が見えないしというところで、なかなか難しいなというのは自分が環境啓発活動に関わる時に分かるんですけども、すごく短い時間で物を考える考え方と、10年2

0年後にこれがどうなっていくかという事を考える考え方をいつも天秤にかけつつ、今は最短何ができるか、これをやらなかったら何年後にこういうことが起きるといふ視点を持てるかどうかということなのかなと思います。環境というのはいふ視点で考えていかなければいけない。いふ時に1, 2年で考えなきゃいけないこともあるし、10年20年、場合によっては100年で考えなきゃいけないこともあるんじゃないかなと思います。

オオキンケイギクを抜かなければいけないといふと、実際、じゃあ人間に何が起きてくるかといふ言葉が伝わっていないんじゃないかなと、咲いていたって別に問題無いじゃないかといふ視点だとやっぱりそこにエネルギーがかけられないと思います。

環境だけじゃなくて市役所さんや業者の方、たくさんの方が関われるのでここだけにかけてくださいといふのは非常に難しいといふのは思ふんですけど、一つの現象が起きてくると考えた時に、今できることは何かといふことを考え、アレチウリを5月まで待たなくてもとげの少ない今の時期から抜いていく等、小さな積み重ねが出来るようになるようにこれからされていけばいいと思ふので、私たちとしては、効果が本当に表れてくるまで持続されるかどうかといふのを見せていただきたいと思ふます。

その環境に対する啓発活動をもう少し、今もホームページや広報等に載せられているんですけども、非常にそれは見る方が限られているんだなと思ふますので、努力されているんですけども啓発に関する方法を考えられるといふことも行政の方がしていただけるといいんじゃないかなと思ふ時はあります。

(会 長) ありがとうございます。いふことも反映させていただけたらと思ふます。

5. その他

「平成26年度緑の環境調査」について

(委 員) この緑の環境調査に是非特定外来生物を入れていただいて、そのついでに駆除していただきたい。

また、せっかくやるので子どもたちが環境・生物に興味を持つだけじゃなくて佐久市がどうなっているかといふことにも興味を持てるようなものを。調べて終わるんじゃないくて、自分たちがその後継続して活動を続けていけるものにしていただけると親も啓発されていくんじゃないかと思ふます。

(事務局) 平成 27 年度からですね、ちょっと思考を変えていかなければいけないのかなということで検討しております。いろいろな結果を踏まえながら 27 年度調査に関しましてはみなさんにも環境対策の意識を高めていただくような方法を検討してまいりますのでよろしくお願ひ致します。

5. 閉 会

(11時10分終了)